

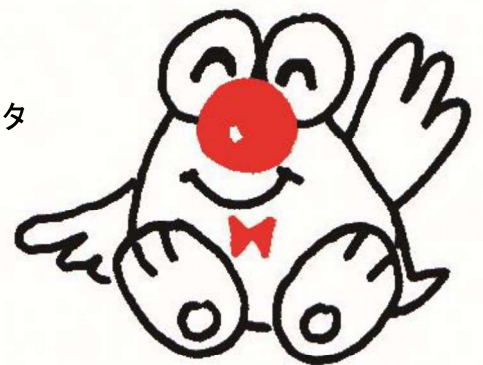
# 第17回広島国際アニメーションフェスティバル

## THE 17<sup>TH</sup> INTERNATIONAL ANIMATION FESTIVAL IN JAPAN, HIROSHIMA 2018

1	第17回広島国際アニメーションフェスティバル開催概要	1
2	大会ポスターについて	4
3	大会プログラムについて	5
4	選考審査の概要	7
5	選考審査結果	13
6	コンペティション上映リスト	14
7	会場位置図	18

### 《付属資料》

- ・デモ上映作品リスト（コンペティション作品抜粋）
- ・コンペティション作品画像データ（抜粋）について
- ・特別プログラムの画像について
- ・コンペティション（抜粋）、特別プログラム画像データ（データ用DVD-R）
- ・チラシ



マスコットキャラクター：ラッピー

日時：平成30年6月4日（月）11：00～

場所：日本プレスセンタービル 9階 会見場

お問い合わせ先（担当：町田）

〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

TEL 082-245-0245 FAX 082-504-5658

広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局

# 1 第17回広島国際アニメーションフェスティバル開催概要

## 1 事業名称

第17回広島国際アニメーションフェスティバル

(英語表記 The 17th International Animation Festival, HIROSHIMA 2018)

## 2 精神

愛と平和 (LOVE & PEACE)

## 3 目的

- (1) 国境や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、人類が平和に生きることを追求するASIFA (国際アニメーションフィルム協会) の心と、世界の恒久平和を願うヒロシマの心が一つになって行う、「愛と平和」を希求する祭典とする。
- (2) 国内外から参加する多くの人々が世界最初の被爆地広島で被爆の実相に触れることにより、人間相互の尊厳を理解するとともに、平和意識の高揚と友愛・連帯の輪の広がりを願い、世界平和の実現に寄与する。
- (3) 世界の著名なアニメーション作家が一堂に会し、作家と参加者が集い、ふれあいながら、傑出した作品を鑑賞することにより、世界のアニメーション芸術の普及・発展及び映像文化の振興・映画産業の発展に寄与する。

## 4 主催団体等

主催 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会

広島市、(公財)広島市文化財団

共催 国際アニメーションフィルム協会日本支部

公認 国際アニメーションフィルム協会

協力 日本アニメーション協会

助成 文化庁、(公財) J K A

後援 総務省、外務省、経済産業省、観光庁、国際交流基金、日本政府観光局 (J N T O)、広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、(公財)広島平和文化センター、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(一社)中国経済連合会、広島県商工会議所連合会、広島県経営者協会、広島経済同友会、(一社)広島青年会議所、広島市 P T A 協議会、広島市中央部商店街振興組合連合会、(公社)映像文化製作者連盟、(一社)日本動画協会、(一社)日本映画テレビ技術協会、中国新聞社、朝日新聞社、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、日本経済新聞社広島支局、産経新聞社、(一社)共同通信社広島支局、時事通信社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、ちゅピCOMふれあい、ちゅピCOMひろしま、(株)アニマックスブロードキャスト・ジャパン、カートゥーン ネットワーク (ターナー・ジャパン株式会社)

## 5 概要

世界各国・地域から応募される最新の短編アニメーション作品を選考及び公開審査によりグランプリ、ヒロシマ賞等を決定するコンペティションのほか、国内外の優れた作家の特集、長編作品、学生優秀作品等を上映する特別プログラム、プレゼンテーション、セミナー、展示、ワークショップ等で構成する総合的な映画祭とする。

## 6 開催期間

平成30年8月23日(木)～8月27日(月)

## 7 会場

JMS アステールプラザ (広島市中区加古町4番17号)

## 8 国際名誉会長

クリ ヨウジ

1928年 福井県鯖江市に生まれる。

1956年 文化学院美術科卒業。

1958年 第四回文芸春秋漫画賞を受賞。二科展で特選。

1960年 “アニメーション3人の会”を真鍋博、柳原良平と共に結成、第一回草月アニメーション上映会を開催。

1962年 アニメーション『人間動物園』が、アヌシー国際アニメーションフェスティバルで特別審査委員賞を受賞。

1963年 アニメーション『人間動物園』が、ヴェネチア映画祭でサンマルコ獅子賞を受賞。

アニメーション『LOVE』が、ヴェネチア映画祭でサンマルコ獅子賞を受賞。

1964年 アニメーション『LOVE』が、ドイツ・オーバーハウゼン映画祭で最優秀賞受賞。

同じく、ポーランド・クラコウ映画祭でゴールデン・ドラゴン賞受賞。

アニメーション『ザ・ボタン』が、スイス・ロカルノ映画祭で特別賞を受賞。

日本テレビで11PMに出演、18年間、週1回、アニメーション『ミニミニアニメ』を制作。

1965年 フランス・アヌシー映画祭で審査員を務める。

アニメーション『花』が、カナダ・モントリオール映画祭で第2位。

アニメーション『AOS』が、ドイツ・オーバーハウゼン映画祭で最優秀賞受賞。

アニメーション『部屋』が、ヴェネチア映画祭でサンマルコ獅子賞を受賞。

アニメーション『あなたは何を考えているの?』が、フランス・トゥール映画祭で特別審査員賞を受賞。

1967年 アニメーション『殺人狂時代』が、ドイツ・オーバーハウゼン映画祭で最優秀賞受賞、また、アメリカ・シカゴ映画祭でグランプリを受賞。

1969年 スペイン・バルセロナ映画祭で特別賞を受賞。

1973年 アニメーション『寄生虫の一夜』が、ドイツ・オーベルハウゼン映画祭で銀賞を受賞。

1974年 オーストラリア・アデレード映画祭で、『久里洋二アニメ特集』で南十字賞を受賞。

アニメーション『POP』がユーゴスラビア・ザグレブ映画祭で第二位。

1977年 アニメーション『MANGA』が、ポーランド・クラコウ映画祭でドラゴン・ブロンズ賞を受賞。

1982年 紺綬褒章を受章。

1988年 『久里洋二・スペース・コラージュ展』をパリ市立近代美術館で開催。



1992年 紫綬褒章を受章。  
 1993年 フランス・アヌシー映画祭で再度審査員を務める。そして、永年アニメに貢献したことで、ASIFA賞を受賞。その他、各画廊、各美術館で絵画のための個展を多数行なう。  
 1994年 『エロス・ユーモア人間図鑑展』を池田20世紀美術館で開催する。  
 1995年 『久里洋二の世界展』福井県鯖江市で開催する。  
 1998年 ドイツ、シュツットガルトで久里洋二アニメ回顧特集と個展を開催。  
 2006年 東京国際アニメフェア2006で第2回特別功労賞を受賞。  
 2011年 旭日小綬章を受章。  
 2012年 ザグレブ映画祭で特別功労賞を受賞。  
 2017年 『クレージーマンガ』に対し、日本漫画家協会賞 大賞を受賞。  
 福井新聞文化賞を受賞。

※国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-Japan) 会員

## 9 大会プログラム

### ア コンペティション

世界中から応募された最新の作品の中から選考審査（P7）を通過した作品について公開審査を行い、グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、観客賞などが選ばれます。

・期間 平成30年8月23日(木)～26日(日) 表彰式27日(月)

・審査対象作品数 75作品 (35か国・地域)

(選出作品一覧及び上映日はP13～17のとおり)

・国際審査委員 (本審査) 6名 (日本人1名、外国人5名)

・賞の種類及び賞金

グランプリ	1点	100万円
ヒロシマ賞	1点	100万円
デビュー賞	1点	50万円
木下蓮三賞	1点	30万円
観客賞	1点	10万円
国際審査委員特別賞	数点	賞金なし
優秀賞	数点	賞金なし

### イ 特別プログラム、サブイベント

大会プログラム (P5～6) のとおり

## 2 大会ポスターについて



アートワーク：クリ ヨウジ

### 3 大会プログラムについて

**現時点で決定しているプログラムについてお知らせいたします。  
今後さらに多くの特別プログラムを追加する予定です。**

#### 1 コンペティション(公開審査)

世界中から応募される最新のアニメーションの中から、一次選考審査を通過した作品を公開審査し、グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、観客賞などが選ばれます。特に、観客賞は、ご来場頂いた皆様の投票により選ばれます。世界の巨匠、未来の巨匠の作品が競演し、各国から出席するコンペティション監督と共に、映画祭の醍醐味を味わうことができます。

#### 2 特別プログラム

##### クリ ヨウジ 短編作品特集(上映とトーク)

今映画祭の国際名誉会長であり、公式ポスターも手掛けたクリヨウジは、日本のインディペンデント・アニメーションの草分けとして、1960年代から国際的に高く評価され、現在も旺盛に制作を続けています。今年90歳を迎えるクリヨウジの活躍を祝い、ウィットと風刺に富んだ短編作品の一挙上映とトークをお楽しみください。

##### ラウル セルヴェ 短編作品特集(上映)

ベルギーの巨匠 ラウル セルヴェも、90歳を迎える現在も制作活動を続けており、過去には2回、国際名誉会長を務めてくださっています。アニメーション界への長年の功績を称え、国際賞多数受賞の短編作品を一挙上映します。

##### マイケル デュドク ドゥ ヴィット 長編作品『レッドタートル ある島の物語』ほか短編2作品(上映とトーク)

これまでの広島映画祭で、唯一、グランプリとヒロシマ賞の両方を受賞されたマイケル デュドク ドゥ ヴィットを特別ゲストとしてお迎えします。自然と人間性を見つめた長篇作品『レッドタートル ある島の物語』および短編2作品『父と娘』(HIROSHIMA'02 グランプリ)、『お坊さんと魚』(HIROSHIMA'96 ヒロシマ賞)を上映し、監督からお話を伺います。

##### イシュ パテル 短編作品特集(上映とトーク、展示)

カナダ国立映画局にて制作されたイシュ パテルの優れた短編作品は、世界の人々を魅了し続けています。短編作品の一挙上映とトーク、また、アートワークの展示を行います。

##### エストニアのアニメーション特集

短編や長編作品をはじめ、コマーシャルやTV番組、ミュージックビデオ、学生作品等、エストニアの優れたアニメーションの数々を、草創期から現代まで一挙上映します。

##### ベスト・オブ・ザ・ワールド

近年制作された世界の秀作・話題作を一挙上映します。

##### 現代日本のアニメーション特集

今日の日本のアニメーション制作者による優秀作品を上映します。

## 学生優秀作品特集

若手の才能を発掘するプログラムとして評判の特集です。世界の学生作品の質は大変高く、アニメーション界の将来を担う優れた才能を堪能していただけます。

## 平和のためのアニメーション特集

広島精神と心を一つにした、平和を希求する優秀作品を上映します。

## 子どものためのアニメーション特集

子ども向けに制作された世界の優秀作品を上映します。

## 「Vimeo Staff Picks」セミナー

Vimeoによる動画キュレーションページ「Vimeoスタッフピックス」が10周年を迎えるにあたり、シニアキュレーターのJeffrey Bowersによるセミナーと作品上映を行います。

## 世界の子供たちが作るアニメーション・プロジェクト『A Funny Story(おもしろいお話)』

ASIFA ワークショップ委員会では、一つのテーマのもと、各国でアニメーション・ワークショップを行い発表しています。2017年度プロジェクトのテーマは『A Funny Story』、10ヶ国の子供たちが制作に参加します。子供たちの素晴らしい想像力と創造力をご堪能ください。それぞれの国の文化や風土にも触れることができます。

## 3 サブイベント

### エデュケーショナル・フィルム・マーケット

世界で唯一、学校・学生・企業を結ぶユニークなマーケットです。国内の主要なアニメーション教育機関にブース出展していただき、アニメーション制作を志す学生には自分の才能を発表し国際的飛躍を目指す場として、教育機関には学校のPR・学生確保の場として、プロダクションや企業の皆様には若い優れた才能発掘の場として活用していただけます。世界の学生作品の視聴コーナーもあります。アニメーション教育機関の出展及び皆様のご参加をお待ちしております。

### ネクサス・ポイント

プロのアニメーション関係者やプロダクション、配給会社等のためのフリースペース。作品の持ち込み上映や広報・プレゼンテーションを通じたビジネス交流の場です。多くの皆様の参加・ご利用をお待ちしております。

### フレーム・イン

プロを目指す若者のための、作品持ち込み上映と情報交換のフリースペースです。アニメーション専門家のアドバイスを受けることもできます。また、映画祭ゲストによる特別セミナーも開催されます。多くの皆様の参加・ご利用をお待ちしております。

## 4 選考審査の概要

平成29年10月に世界167か国・地域に約22,800件、大会規約・出品申込書を発送して作品募集を呼びかけ、平成30年2月1日から4月1日まで受付をしたところ、88か国・地域から2,842作品（過去最多）のアニメーション作品の応募がありました。

**(1) 選考期間**

平成30年5月9日(水)から25日(金)まで 17日間

**(2) 選考会場**

広島市映像文化ライブラリー 広島市中区基町3番1号  
(一部、JMS アステールプラザでも実施)

**(3) 選考方法**

国際選考委員が全応募作品を審査し、コンペティション対象作品を決定した。

**(4) 国際選考委員（5名）**

氏 名	国 籍
キネ オーネ (Kine Aune) (国際選考委員長)	ノルウェー
フェラン ガヤート (Ferran Gallart)	カタルーニャ/スペイン
メノ ドウ ノイヤ (Menno de Nooijer)	オランダ
クリスティナ リマ (Cristina Lima)	ポルトガル
長尾 真紀子 (ながお まきこ)	日本



## 第17回広島国際アニメーションフェスティバル国際選考委員の経歴

### 国際選考委員長



キネ オーネ  
(ノルウェー)

映画・演劇ディレクター、プロデューサー

1943年ノルウェー生まれ。ノルウェーの古い鉱山都市レーロスの山間に在住。映画や演劇学の教育を受け、織物やテキスタイル・デザインのスタジオを経営後、1975年より、映画スタジオ／制作会社KINEFILMを運営。テレビ、劇場、図書館及びデジタル配信向けのアニメーションやドキュメンタリー、情報作品、コマーシャル作品、また、舞台演劇も制作している。また、ノルウェー北部（ロフォーテン諸島のカベルヴォーグ、そしてトロムソ）のアートや映画に関する教育プロジェクトのリーダーを務めるとともに、長年にわたり、4歳から14歳の若者を対象にした文化、演劇、映画、アニメーション等、様々なワークショップのプロジェクトリーダーも務めている。KINEFILMの作品は、国内外の多くの映画祭にて公式上映されており、近年では国際ポエム・フェスティバルにおいても上映されている。また、彼女の作品や功績は数多くの国際アニメーション映画祭等で表彰されており、ノルウェーでは、アニメーション分野への功績が称えられ、フレドリクスタのノルディック・アニメーション映画祭や、在住しているソール・トロンドラーク県文化局による表彰も受けている。このほか、多くの公的委員会の理事を務める。

フィルモグラフィ及び受賞歴：

『Foot play』(1981)

『A Dark Afraid Story』(1984)

『What Shall We Do With Little Jill?／ちいさなジルはどこへいったの?』(1987)

First Animated Festival in Shanghai (中国)で受賞

The International Children and Youth Film and TV Festival in Moscow (ロシア)で受賞

『Wroom!／ブルーン!』(1988)

『Kiss the Cat!／キス ザ キャット!』(1991)

The International Short Films Festival in Grimstad (ノルウェー)で受賞

『Once Upon a Time／むかしむかし』(1992)

『What a Hog!／イノシシに乾杯!』(1992)

Internationale Tages des Okologischen Film (ドイツ)で受賞

『Little Klirol』(1994)

『Kevin Saves the World／ケビン、世界を救う』(1995)

『Kevin and the Computer Game／ケビンとコンピューターゲーム』(1996)

『Kevin and the Genie／ケビンと精霊』(1997)

『Kevin and the Big Lizard／ケビンとオオトカゲ』(1998)

『Kevin and the Boogie Woogie Man』(1998)

『The Golden Bird, a Saami fairytale』(2001)

『The Baker／ザ ベーカー』(2010)

『The Magic time』(2013)

Toronto International Animation Festival (カナダ)で受賞



フェラン ガヤート  
(カタルーニャ/スペイン)

アートディレクター

フェラン ガヤートは、1946 年スペインのカタルーニャ州、マンレサ生まれ。

1958 年から 1962 年、マンレサの美術学校にてドローイングと絵画を学び、学士号を取得。1963 年、バルセロナのアニメーション学校に入学。1964 年から 1975 年、ジュネーヴのスタジオ LIECHTI の制作に携わり、アニメーター及び脚本家として活躍。また、300 本以上の劇場・テレビ向けスポット及びコマーシャルを監督。1970 年、いくつかのハリウッドスタジオで行われたトレーニングコースに参加。

1973 年、映画『Quando la Paix joue avec les Hommes』を監督し、ソリュール映画祭で最優秀短編映画賞、また、1985 年ローザンヌのクイック映画祭で最優秀賞を受賞。1975 年から 1981 年、パリ、マドリード、バルセロナ、ローザンヌ、ウィーンなどヨーロッパのいくつかのスタジオの作品『The Flintstones』『Scoobydoo』『La Ballade des Daltons』『Le Baron de Munchausen』の制作に携わる。1981 年以降、スイスのテレビ局、テレヴィジオン・スイス・ロマンドにて、多数のオープニング/エンディングタイトルや、アニメーション作品『Agora』『A comme Animation』『Dodu Dodo』『Imedias』『Planquez les Nounours』『Images Magies』『Bus & Co』などを監督している。

一方、1984 年、Dodu Dodo というキャラクターを生み出し、コミックブック『Dodu Dodo Gagas à Gogo』(1985)を出版。アニメーションシリーズ『Dodu Dodo la Chasse au Tresor』(1986)の作者でもある。

フェランは、1990 年、ジュネーヴの書籍展覧会では「Forgerons du Rêve」賞を授与され、また、国際ユーモアフェスティバル「Morges-sous-rire」では、新聞のためのベスト・ドローイングに贈られる最優秀審査委員賞を受賞。

1991 年、ベルギーの公共放送局 RTBF の TV シリーズ『C'Est les Rats』を監督し、1992 年から 1993 年、同局の『Floc-Le Petit Flocon』全 24 話の監督を務めた。2000 年及び 2001 年には、コミックアルバム『Zap les Gaffes』及び『Les Zap...quand ils nous la jouent quelle histoire』を出版。アルヴァールやローザンヌの映画祭では、アニメーションワークショップに参加。また、マドリードの Edition Pearson のためのコミックブックを多数出版。テレヴィジオン・スイス・ロマンドの番組『Animaniak』『ABC』『Agendas』のオープニング/エンディングタイトルを監督。

2007 年にスイスのテレビ局の活動から退いて以降、『Historia dels aliments』などカタルーニャの新聞向けのコミックの制作及び『Sala i Ricardis』や『Koalino』など書籍のイラストレーションを続けている。

シナマ映画祭やモンスター映画祭などの審査員を務めており、1965 年より、アヌシー、ザクレブ、ソリュール、ローザンヌ、ジュネーヴ、エスピーニョ、テプリツェ、広島、リスボンなどの映画祭に定期的に出席している。



メノ ドウ ノイヤ  
(オランダ)

ヴィジュアル・アーティスト

1967 オランダ、アイントホーフェン生まれ。

1986 - 1991 オランダ、ティルブルフのアート・アカデミーにて彫刻と教育学の学位取得。

1991 - 1992 米国ミシガン州ブルームフィールド・ヒルズのクランブルック・アカデミー・オブ・アート大学院にて、写真と映画を研究。

フィルムグラフィ (抜粋) - ポール ドゥ ノイヤとの共同監督作品

2018 『New Years Concert』(シュトラウス他)、ビデオプロジェクト (3 スクリーン)、93 分、ライブ演奏

2017 『Over de beiaardier die in een klok veranderde』、ビデオプロジェクト (3 スクリーン) とパフォーマンス、65 分、ライブ演奏

2017 『Jacob 3.0』、ビデオプロジェクト (3~7 スクリーン)、65 分、ライブ演奏

2017 『New Years Concert WIENER MELODIEN』(ブラームスとシュトラウス)、ビデオプロジェクト (3 スクリーン)、93 分、ライブ演奏

2016 『Four Seasons』(ヴィヴァルディ)、ビデオプロジェクト (3 スクリーン)、60 分、ライブ演奏

2016 『Gewoon Kunst』、フェスティバル予告編、3 分 37 秒

2016 『FILMFEST Dresden』、フェスティバル予告編、1 分

パフォーマンス/インスタレーション (抜粋)

2017 - 2018 『OVER DE BEIAARDIER DIE IN EEN KLOK VERANDERDE』、ライブ・ミュージック・ビデオ・パフォーマンス、Erik Bosgraaf、Izhar Elias、Katinka Polderman、Jorrit Tamminga と共に、オランダ 18ヶ所の劇場にて

2017 『JACOB 3.0』、ライブ・ミュージック・ビデオ・パフォーマンス、Erik Bosgraaf、Izhar Elias、DJ-DNA、Jorrit Tamminga と共に、オランダ、ユトレヒト及びケルクラーデにて

2017 『FREUDE II』、ライブ・ミュージック・ビデオ・パフォーマンス、Erik Bosgraaf、Izhar Elias と共に、ドイツ、ケルンの Neue Musik にて

2017 『NEW YEARS CONCERT』、ビデオプロジェクト、ドイツ、ヴュルテンベルク室内管弦楽団と共に、ドイツ、ハイルブロンにて

2016 『TRAUER』、ライブ・ミュージック・ビデオ・パフォーマンス、Erik Bosgraaf、Reijseger と共に、スイス、ベルンの聖マリア教会およびインスにて

2016 『FREUDE』、ビデオ・パフォーマンス、Erik Bosgraaf、Reijseger と共に、ドイツ、ブレーメンの City 46 劇場にて

2016 『THE FOUR SEASONS』、ライブ・ミュージック・ビデオ・パフォーマンス、Erik Bosgraaf 及び南オランダ・フィルハーモニー管弦楽団と共に、ドイツ、アーヘンのルートヴィヒ・フォーラムにて

2016 『HALF THE HORIZON』、ライブ・ミュージック・ビデオ/フィルム・パフォーマンス、オランダ、テルスヘリング島のオエロル祭などにて (18 回)

2015 『DE VIER JAARGETIJDEN』、ライブ・ミュージック・ビデオ・パフォーマンス、Erik Bosgraaf 及び南オランダ・フィルハーモニー管弦楽団と共に、オランダ、マーストリヒトの Vrijthof 劇場や MuziekGieterij ライブハウス、またアイントホーフェンの NatLab 映画館などにて

2014 『HALF THE HORIZON』、ライブ・ミュージック・ビデオ/フィルム・パフォーマンス、オランダ、アイントホーフェンの NatLab 映画館、デンボスの November Music フェスティバル、フスの 't Beest コンサートホールなどにて

コミッション作品 (抜粋)

2018 『Tree of life』、長さ 18m の常設サイト・スペシフィック・フォト・インスタレーション、オランダ、フリシンゲン

2016 『STAIRWAY TO HEAVEN』、高さ 9m のスチール彫刻、オランダ、カペレ



クリスティナ リマ  
(ポルトガル)

CINANIMA 国際アニメーション  
映画祭プログラマー、運営メン  
バー

クリスティナ リマは、1966 年モザンビーク生まれ。1974 年、8 歳よりポルトガルに移り、今日まで在住。ポルト大学現代言語学および文学（英語、ドイツ語）専攻卒業。同大学院翻訳学修士。

1989 年の修了とともに、クリスティナは、エスピーニョの CINANIMA 国際アニメーション映画祭に勤め始める。今日まで、映画祭運営メンバーとして、国際渉外、ネットワーキング、プログラミング、カタログ制作、ゲスト調整、作品受付を担当。さらに、CINANIMA の代表として、カートゥーン・フォーラム（フィンランド）、アヌシー（フランス）、ケチケメート（ハンガリー）、メクネス（モロッコ）、ザグレブ（クロアチア）、アニマ・ブリュッセル（ベルギー）などアニメーションの国際的イベントや映画祭に出席している。

また、ハンガリーの KAFF（ケチケメート・アニメーション映画祭）の国際審査委員を務め、リミニ（イタリア）のカートゥーン・クラブでは国際審査委員を務めるとともにポルトガルのアニメーション・プログラムを上映。

ポルトガル映画・視聴覚インスティテュート（文化省）短編アニメーション制作資金援助部門評議員。



長尾 真紀子  
(日本)

アニメーション制作、普及、研究

1985年、慶應義塾大学民族学考古学専攻卒業。在学中の同年2月、木下蓮三・木下小夜子の(株)スタジオロータス入社。特に短編アニメーションの世界に魅了され、今日まで、木下小夜子の秘書・助手として、主に短編アニメーション作品の制作、普及、上映プログラム企画制作等のマネジメントを務めている。国内外の国際映画祭、美術館、テレビ局等のためのアニメーション・プログラム制作に多数携わっている。

作品制作においては、スタジオロータス作品『ゲバゲバ笑タイム』(1986年)、『無想』(1988年)、『最後の空襲くまがや』(1993年、埼玉県平和資料館常設上映作品)、『ひろしくんは空がすき』(1994年、芸術文化振興基金助成作品)、『琉球王国 - Made in Okinawa』(2004年、芸術文化振興基金助成作品)等の制作マネジメントを担当。

アニメーション芸術文化振興のための活動として、広島国際アニメーションフェスティバルでは、1985年の第1回映画祭から今日まで、木下小夜子フェスティバル・ディレクター秘書として運営全般に携わっている。1990年よりプロジェクト委員を歴任し、主に上映および展示プログラム企画制作を補佐。2013年より、フェスティバル実行委員も歴任。

仕事や活動と共に、現代アートの枠組みにおけるアニメーションの理論的研究を志し、主にアニメーションにおけるドキュメンテーションの可能性について研究している。2014年より、女子美術大学大学院芸術表象研究領域、杉田敦研究室にて学び、2016年、修士論文「アニメーションによる社会的・歴史的事象への言及の可能性について：『ピカドン』の考察を中心に」を提出。同年、女子美術大学創立者横井・佐藤記念特別奨学金授与。現在、同大学院博士後期課程在籍。

2017年、論文「アニメーションにおけるドキュメンテーションの可能性：アニメテッド・ドキュメンタリー研究史を概観して」(女子美術大学研究紀要第47号)。同年、オランダ・ナイメーヘンのRadboud大学での国際学会“Animation and Memory”にて研究発表「A Possibility of Documentation in Animation: A Comparative Study of an Animation Short PICA-DON and Artworks of Other Genres Referring to Social/Historical Issues」。2018年、論文「出来事の〈概要〉を提示するアニメーションの潜在的可能性：アニメーションと他の表象との比較考察」(女子美術大学研究紀要第48号掲載予定)。

日本アニメーション学会(JSAS)会員。国際アニメーションフィルム協会日本支部(ASIFA-JAPAN)事務局長。



## 5 選考審査結果

区分	制作国・地域	選考 作品数	コンペティション 選出作品数	区分	制作国・地域	選考 作品数	コンペティション 選出作品数	
アジア	アラブ首長国連邦	3	0	ヨーロッパ	チェコ	21	0	
	イスラエル	40	0		デンマーク	23	1	
	イラン	40	1		ドイツ	101	4	
	インド	14	0		ノルウェー	19	1	
	インドネシア	2	0		ハンガリー	35	2	
	カタール	1	0		フィンランド	20	0	
	サウジアラビア	1	0		フランス	241	10	
	シリア	2	0		ブルガリア	13	0	
	シンガポール	18	0		ベラルーシ	5	0	
	タイ	4	0		ベルギー	34	1	
	大韓民国	218	0		ポーランド	81	7	
	台湾	125	1		ボスニア・ヘルツェゴビナ	1	0	
	中華人民共和国	83	1		ポルトガル	35	1	
	トルコ	5	1		マケドニア	3	0	
	日本	341	1		モルドバ	1	0	
	フィリピン	13	0		ラトビア	7	0	
	ベトナム	1	0		リトアニア	5	0	
	香港	23	0		ルーマニア	5	1	
	マカオ	1	0		ロシア	101	7	
	マレーシア	4	0		小計(40) < 18 >	1205	50	
	ミャンマー	3	0		北米	アメリカ	215	3
	ヨルダン	1	0			カナダ	70	0
	レバノン	3	0			小計(2) < 1 >	285	3
小計(23) < 5 >	946	5	中南米	アルゼンチン	22	0		
ヨーロッパ	アイルランド	7		0	ウルグアイ	2	0	
	アルメニア	2		0	エクアドル	2	0	
	イギリス	153		2	エルサルバドル	3	0	
	イタリア	25		1	コスタリカ	3	0	
	ウクライナ	10		1	コロンビア	7	0	
	ウズベキスタン	2		0	チリ	9	1	
	エストニア	41		2	ブラジル	29	0	
	オーストリア	8		0	ベネズエラ	2	0	
	オランダ	28		5	メキシコ	28	0	
	カザフスタン	1		0	小計(10) < 1 >	107	1	
	キプロス	1		0	オセアニア	オーストラリア	39	1
	ギリシャ	6		1		小計(1) < 1 >	39	1
	クロアチア	34	0	アフリカ	エジプト	1	0	
	ジョージア	4	0		コートジボワール	1	0	
	スイス	53	2		チュニジア	2	0	
	スウェーデン	15	0		南アフリカ	5	1	
	スペイン	37	1		ルワンダ	1	0	
	スロバキア	13	0		小計(5) < 1 >	10	1	
	スロベニア	7	0	合作(上記以外7か国※1) < 上記以外8か国※2 >	250	14		
セルビア	6	0	合計作品数	2842	75			
タジキスタン	1	0	選考作品の応募国・地域数	88か国・地域				
			コンペティション選出作品の応募国・地域数	35か国・地域				

注) 小計の ( ) 内の数字は、選考作品の応募国・地域数、< > 内の数字は、コンペティション選出作品の応募国・地域数。

※1: 合作(上記以外7か国)・・・アルバニア、コンゴ、ニュージールランド、パレスチナ、ボリビア  
アイスランド、パキスタン

※2: 合作(上記以外8か国)・・・インド、オーストリア、クロアチア、ジョージア、チェコ  
ベラルーシ、ラトビア、コロンビア

コンペティション上映リスト (1日目)				上映時間 2時間06分30秒
番号	題名 (英語) 題名 (日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	The Ogre ジ オウガー	フランス	9分41秒	Laurène Braibant ロレン プライバン
2	Threads スレッズ	カナダ ノルウェー	8分48秒	Torill Kove トリル コーヴ
3	The Battle of San Romano サン ロマーノの戦い	スイス	2分26秒	Georges Schwizgebel ジョルジュ シュヴィッツゲベル
4	Manivald マニヴァルド	クロアチア カナダ エストニア	12分55秒	Chintis Lundgren チンティス ルンドグラン
5	Golden Oldies ゴールデン オールディーズ	オランダ	2分59秒	Daan Velsink, Joost Lieuwma ダン ヴェルシンク、ヨーストリウマ
6	Shuma シューマ	エストニア	6分04秒	Lucija Mrzjak ルツィヤ ムルズリャク
7	Negative Space ネガティブ スペース	フランス	5分30秒	Max Porter, Ru Kuwahata マックス ポーター、桑畑 かほる
8	RIPPLE リップル	フランス	4分10秒	Mor Israeli モール イスラエリ
9	Hundred Miles Red ハンドレッド マイルズ レッド	中国	7分25秒	Wu Zheng, Liying Huang, Jiawen Shen
10	VERGE ヴァージ	アメリカ	3分01秒	Ching Tien Chu 朱 靖天
11	Mimik ミミック	ハンガリー	4分00秒	Petra Varga ペトラ ヴァルガ
12	The Valley ザ ヴァリー	トルコ	11分27秒	Can Erkan, Salih Toprak ジャン エルカン、サーリフトブラク
13	The Pocket Man ザ ポケット マン	スイス フランス ジョージア	7分26秒	Ana Chubinidze アナ チュビニーゼ
14	Spleen of the sculptor スプリーン オブ ザ スカルプター	フランス	3分42秒	Augusto Zanollo アウグスト ザノヴェロ
15	Strange Case ストレンジ ケース	ポーランド	13分26秒	Zbigniew Czapla ズビグニェフ チャブラ
16	The Bricks ザ ブリックス	ロシア	2分46秒	Catherine Kireeva エカテリーナ キレーエフ
17	From the same thread フロム ザ セイム スレッド	スペイン、インド、 オーストリア、チリ ギリシャ	3分06秒	Antonia Piña, Rucha Dhayarkar, Lorene Friesenbichler, Phaedra Derizioti アントニア ピーニャ、ロレーヌ フリーゼンビヒラー、ファエドラ デリジオティ
18	Traces of ephemeral トレイシズ オブ イフェメラル	ポーランド	7分48秒	Agnieszka Waszczeniuk アグニェシカ ヴァシチェニウク
19	Please Frog, just one sip プリーズ フロッグ、ジャスト ワン スィップ	南アフリカ	9分50秒	Diek Grobler ディック グローブラー

## コンペティション上映リスト (2日目)

上映時間

2時間11分05秒

番号	題名 (英語)	国名	時間	ディレクター名
	題名 (日本語)			
1	Bond	ハンガリー	10分08秒	Judit Wunder ユディト ヴンデル
	ボンド			
2	CONNECT	ドイツ	4分01秒	Hi-Jeong So ソ ヒジョン
	コネクト			
3	Bird Karma	アメリカ	4分47秒	William Salazar ウィリアム サラザール
	バード カルマ			
4	BETWEEN THE SHADOWS	ポルトガル	13分24秒	Mónica Santos, Alice Guimarães モニカ サントシュ、アリス ギマライシュ
	ビトゥイーンザシャドウズ	フランス		
5	The Hunt	フランス	5分36秒	Alexey Alekseev アレクセイ アレクセイェフ
	ザ ハント			
6	the lost garden	フランス	3分00秒	Natalia Chernysheva ナターリア チェルニェソヴァ
	ザ ロスト ガーデン			
7	The Letter From Hibakusha	日本	4分34秒	Vladimir Leschiow ヴラディミール レシオフ
	ヒバクシャからの手紙	ラトビア		
8	Clock Face	ロシア	5分54秒	Natalia Ryss ナターリア リス
	クロック フェイス			
9	The Blissful Accidental Death	ルーマニア	15分10秒	Sergiu Negulici セルジウ ネグリチ
	ザ ブリッスフル アクシデンタル デス			
10	String of Sound	アメリカ	0分57秒	John Morena ジョン モレナ
	ストリング オブ サウンド			
11	Maned & Macho	イラン	10分48秒	Shiva Sadegh Asadi シヴァ サードグ アサディ
	メインド & マッチョ			
12	Alternative walk	ロシア	5分08秒	Ivan Maximov イヴァン マクシモフ
	オルターナティブ ウォーク			
13	Sombryuk	ロシア	5分14秒	Polina Fyodorova ポリーナ フョードロワ
	オオカミ			
14	SURPRISE	ポルトガル	8分42秒	Paulo Patricio パウロ バトリシオ
	サプライズ			
15	Sirocco	フランス	5分22秒	Romain Garcia, Kevin Tarpinian, Thomas Lopez-Massy, Avril Hug, Lauren Madec ロマン ガルシア、ケヴィン タルピニアン、トマス ロベス・マシィ、アヴリル ユブ、ロー ン マデック
	シロッコ			
16	Nothing happens	デンマーク	11分44秒	Uri Kranot, Michelle Kranot ウリ クラノット、ミシェル クラノット
	ナッシング ハプンズ	フランス		
17	we are the immigrants	コロンビア	5分56秒	Catalina Matamoros カタリーナ マタモロス
	私たちは移民です。	アメリカ		
18	Letting Go	エストニア	10分40秒	Ülo Pikkov ウロ ピッコフ
	レッティング ゴー	デンマーク		



コンペティション上映リスト (3日目)				上映時間 2時間10分25秒
番号	題名 (英語) 題名 (日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	Contra コントラ	ドイツ	3分00秒	Jessica Tegethoff ジェシカ テゲトフ
2	Catherine キャサリン	ベルギー	11分47秒	Britt Raes ブリット ラース
3	A LITTLE LOVIN アリトル ラヴィン	スペイン	3分09秒	Marie Paccou マリー パクウ
4	Creation クリエイション	ロシア	6分02秒	Yulia Baygulova ユリヤ バイグロワ
5	Mum's Hair マムズヘア	ノルウェー	5分26秒	Maja Arnekjeiv マヤ アルネクレイヴ
6	Passage パッセージ	フランス	6分25秒	Simon Feat シモン フェア
7	Reverie レヴェリー	デンマーク	7分46秒	Philip Louis Piaget Rodriguez フィリップルイ ピアジェロドリゲス
8	Sabaku サバク	オランダ	2分18秒	Marlies van der Wel マルリース ヴァン デル ウェル
9	Moczarski's Case モチャルスキの場合	ポーランド	5分15秒	Tomasz Siwinski トマシュ シヴィンスキ
10	XOXO hugs and kisses XOXO ハグ アンド キス	ポーランド	13分53秒	Wiola Sowa ヴィオラ ソワ
11	AENIGMA エニグマ	ギリシャ	10分06秒	Antonis Ntoussias, Aris Fatouros アンドニス ドゥシアス、アリス ファツロス
12	Waldo's Dream ワルドの夢	チリ	3分12秒	José Navarro, Jorge Campusano, Santiago ORyan ホセ ナバーロ、ホルヘ カンプサーノ、サンティアゴオリアン
13	Fish Shop フィッシュ ショップ	ポーランド	2分58秒	Maria Kulpa マリア クルパ
14	True North トゥルー ノース	イギリス	7分55秒	George Bowler ジョージ ボウラー
15	FISHERWOMAN AND A BEAR. A SAMI STORY フィシャーウーマンと熊、サーミの話	エストニア	2分31秒	Priit Tender プリット テンダー
16	The little Bird and the Caterpillar 小鳥とアオムシ	スイス	4分20秒	Lena von Döhren レナ フォン ドーレン
17	SEA シー	チェコ ベラルーシ	3分57秒	Marharita Tsikhanovich マルハリタ チハノヴィチ
18	Strange Cargo ストレンジ カーゴ	フランス	6分12秒	Auguste Denis, Emmanuelle Duplan, Valentin Machu, Melanie Riesen オグスト デニ、エマニュエル デュプラン、ヴァランタン マシュ、メラニー リゼン
19	Conan O'Brien Discusses "We're Going to be Friends" by The White Stripes コナン オブライアン discusses "We're Going to be Friends" by The White Stripes	イギリス	2分39秒	Moth Studio モス スタジオ
20	Prychynna: The Story of Love 憑かれた娘：愛の物語	ウクライナ	21分34秒	Andrii Shcherbak アンドリー シチェルバク

コンペティション上映リスト (4日目)				上映時間 2時間07分01秒
番号	題名 (英語) 題名 (日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	And The Moon Stands Still アンドザムーンスタndsスティル	ベラルーシ ドイツ	10分42秒	Yulia Ruditskaya ユリアルーディツカヤ
2	Yellow Rose イエローローズ	オーストラリア	3分47秒	Xin Li
3	Wrong Path ロングパス	フランス	5分03秒	Francois Vogel フランソワ フォゲル
4	Squaring the circle スクエアリングザサークル	ポーランド	4分49秒	Karolina Specht カロリナ スペフト
5	Cyclists サイクリスト	クロアチア フランス	7分21秒	Veljko Popovic ヴェリコ ポボヴィチ
6	i-OCCUPY アイ-オキュパイ	イタリア	2分25秒	Lorenzo Lodovichi ロレンゾ ロドヴィーチ
7	Vivat musketeers! ヴィヴァ マスケティアズ!	ロシア	5分30秒	Anton Dyakov アントン ジャコフ
8	Child チャイルド	ドイツ	8分38秒	Viktor Stickel, Iring Freytag, Linus Stetter ヴィクトール スティークル、イリン フライタグ、リノス シュテタ
9	Hate for Sale ヘイトフォアセール	オランダ	2分39秒	Anna Eijsbouts アナ エイスバウト
10	The Edge ジエッジ	ロシア	11分59秒	Alexandra Averyanova アレクサンドラ アヴェリヤノワ
11	Airport エアポート	スイス クロアチア	10分34秒	Michaela Müller ミハエラ ミュラー
12	Flo フロ	ドイツ	1分47秒	Nora Marie Back ノラ マリー バック
13	Flower Found! フラワーファウンド!	オランダ	6分45秒	Jorn Leeuwerink ヨルン レウワリンク
14	SOUTH FOREST SOUTH FOREST	日本	6分47秒	HUANG Wenrui 黄雯睿 (コウブンエイ)
15	AUGUR オーガー	ポルトガル フランス	15分15秒	David Doutel, Vasco Sá デヴィット ドゥテル、ヴァシュコサ
16	Unidentified アンアイデンティファイド	台湾	4分14秒	Ching Hsuan Lin 林青萱
17	Sand Wanderer サンドワンダラー	オランダ	6分31秒	Eric Giessmann エリック ヒスマン
18	Oh Mother! オーマザー!	ポーランド	12分15秒	Paulina Ziolkowska パウリナ ジュウコフスカ

## 7 会場位置図

JMSアステールプラザ（広島県広島市中区加古町4番17号）

電話：082-244-8000

### 【JR広島駅から】

#### 市内電車利用の場合

広島港行（紙屋町経由）→市役所前下車（徒歩約600m）

江波行→舟入町下車（徒歩約400m）

#### バス利用の場合

広島バス24番 吉島営業所行または吉島病院行→加古町下車（徒歩約200m）

#### タクシー利用の場合

約15分

### 交通案内

